



COOP SHIGA CSR REPORT 2025

コープしがCSRレポート2025

とものつくる
笑顔
あふれる未来



COOP SHIGA CSR REPORT 2025

コープしがCSRレポート2025

編集方針

「コープしがCSRレポート」は、コープしがが果たすべき社会的責任（Corporate Social Responsibility:CSR）と社会課題解決のために行っている取り組みを、ステークホルダーのみなさまにご理解いただくことを目的に発行しています。

2008年の発行から数えて18回目となる今回は、独自視点の「5つのたいせつ」に基づいた構成とし、コープしがの活動をより分かりやすくお伝えすることを心がけました。

コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」のもと、持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みを行っているのか紹介しています。掲載は活動の一部ですがみなさまにご覧いただければ幸いです。

CONTENTS

理事長あいさつ 02

特集

**2030年ビジョン実現に向けた取り組み
～コープしがの2024～** 03-04
コープしがのCSR 05-06
コープしがの事業紹介 07-08

2024年度活動報告

「たべる」たいせつ 09-10
「くらし」たいせつ 11-12
「ちいき」たいせつ 13-14
「びわこ」たいせつ 15-16
「いのち」たいせつ 17
県内自治体との協定・覚書 18

コープしがの組織概要

環境報告 19-20
コープしがの概要／事業所一覧 21
コープしがのグループ会社 22



「ともにつくる 笑顔あふれる未来」の実現をめざして

みなさまのご支援、ご協力をいただき、2024年度の事業と活動を円滑にすすめることができました。関わっていただいたすべての方々に感謝いたします。

時代や社会の流れが速くなり、競い合いの世の中の様相がとて強くなっている昨今ですが、思い出されるのは生活協同組合が産声をあげた頃のことです。当時のくらしをめぐる環境は、環境汚染、食品公害などの不安の中、消費者がお金を出し合って、力を合わせて自分たちが納得する食品をみんなで手に入れ、くらしの安心を自分たちで実現していくために生活協同組合が誕生しました。

現在は、その当時からは組合員数や事業高が増えたことに伴い、事業や活動の幅も広がりましたが、今もなお変わらず私たちがめざしていることは「一人ひとりのくらしの想い・願いを協同のカタチにすること」です。「協同のカタチにする」には、聴き、話し、共感し合うというプロセスと時間が必要になりますが、それを大切に運営するからこそ、安心と信頼が高まっていくのだと感じています。2025年度もこのことを軸に置き、コープしが関わってくださる方々とのつながりがより一層強くなるよう励んでまいります。

また2025年は2つの節目の年となります。一つ目は、「国際協同組合年」です。国連が持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど多くの分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、今年を国際協同組合年と決めました。私ども生活協同組合コープしも価値と意味のある事業と活動をすすめ、県民や地域のみなさまにさらに認知していただけるよう努力してまいります。

もう一つは戦後80年の年にあたります。設立から「よりよき生活と平和」をめざしてきたコープしがとして、大切な一年として位置付けたいと考えています。昨今の情勢は世界中で争いが絶えず、平和とは違う方向へ向かっているかのように感じることも多く、過去の歴史と経験から学び、その知をこの先平和でいるための力とできるよう取り組んでまいります。

私たちが掲げる理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」は、想いや願いを出し合い、共感し合い、ともに考え、そしてかけがえのない人と人とのつながりの中で、笑顔あふれる未来をめざして不断の努力を行うことを誓ったものです。さまざまな地域や団体のみなさんと共生社会の一員として、真面目に地道に、この理念の実践に励んでまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

理事長

白石一夫



第41回通常総代会(2021年6月11日)で承認されました

2030年ビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」は、コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を実現するための10年後のありたい姿です。今までも、これからも組合員の期待に応え、くらしに役立ち続けることをめざしています。

2024年度はありたい姿の実現をめざす中間の3年間となるため、「土台づくり」として取り組んだ3年間(2021-2023)を継承しながら、施策をすすめました。

コープしが2030年ビジョン ～やくだつ・つながる・ひろがる～

2030年のコープしがは…

- 1 食の安全・安心を大切に、一人ひとりのくらしへの役立ちを高め、生涯を通じて利用できる事業をつくりあげています。
- 2 誰もが安心してくらしをすることをめざし、地域の中での役割を担っています。
- 3 大多数の人々の理解と共感、つながりを力に、持続可能な社会への取り組みを広げています。
- 4 組合員と生協で働く誰もが、生き活きと輝き、より良いくらしづくりをめざして持続可能な経営を続けています。

しが子どもの笑顔 はぐくみサポート基金

貧困やさまざまな悩みを抱える子どもたちが“笑顔”でくらすように応援する基金を2022年1月に創設しました。組合員が宅配、店舗で提供する県内商品・地場産農産物の利用を通じて、子どもたちや県内生産者を応援できる取り組みです。積み立てた基金は、年度末に1年間分を、滋賀県社会福祉協議会がすすめる「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付しています。

●2024年度寄付金額：1,506,995円



フードドライブの取り組み

コープしがの各事業所にフードBOXを設置し、組合員から余剰食品の提供を受け、「フードバンク滋賀」・「フードバンクびわ湖」・「フードバンクながはま」・「甲賀市社会福祉協議会」を通して必要とする人に届ける「フードドライブ」の取り組みを行っています。

●2024年度
フードBOX回収量：
5,097.8kg



「森林×ACTチャレンジ2024」

優秀賞を受賞(2024/10/9)

林野庁主催の「森林×ACTチャレンジ2024」で森林づくり部門 優秀賞を受賞しました。今回の表彰は、森林の適切な整備や保全に貢献する企業等に贈られるもので、コープしがは、県内の生産森林組合と協定を締結して森林整備の支援を行っていることや、森林ボランティアの実施、また、組合員とともに森の役割を学ぶ体験学習を実施していることなどから表彰を受けました。



林野庁で行われた表彰式

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」

滋賀県との包括的連携協定に基づき、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に協賛しています。オフィシャルサポーターとして、2025年の開催成功に向けて県民への認知度向上に取り組んでいきます。



カウントダウンCM (びわ湖放送で放送)

「考えてやってみよう! 5つのたいせつ活動」がスタート(2024年9月～)

家族や友人と、お家や身の回りでチャレンジした小さなアクションを投稿してもらうことで、コープしがが1投稿につき100円を「滋賀応援寄附」へ寄付する取り組みです。

参加者の報告より(くらし*たいせつ)

小銭があれば、災害時に、自販機やお店で利用できると思い、普段から小銭を集めるようにしています。姪っ子と甥っ子へのお年玉を小銭で用意して、その理由と使い方を書いた手紙と一緒に渡すつもりです。



「コープの森 多賀」を開設

コープしがは、犬上郡多賀町にある大滝山林組合と、琵琶湖森林づくりパートナー協定を締結しました。2024年12月10日には多賀町役場にて調印式、2025年4月12日には「コープの森 多賀」で除幕式が行われました。「コープの森 多賀」は、「コープの森 余呉」(2022年協定期間終了)、「コープの森 あぶらひ」に続き、3つ目のコープの森となります。



調印式 (2024/12/10)



「コープの森 多賀」除幕式 (2025/4/12)

大中フードセンター竣工(2024/8/8)

コープしがのグループ会社である(株)コープシステムサービスは大中フードセンターを開設しました。大中フードセンターは、コープしがの宅配弁当(夕食サポートつながり)製造の一部を担います。また、宅配事業で不足するドライアイスの代わりとなる冷凍保冷剤の凍結といった事業を通じて、組合員に生協の商品を安定的に提供することをめざしています。



竣工式の様子

2025年は国際協同組合年

国連が持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど多くの分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、今年を国際協同組合年と決めました。コープしがも価値と意味のある事業と活動をするため、県民や地域のみならずさらに認知していただけるよう努力してまいります。



コープしがのCSR

理 念

ともにつくる  あふれる未来

私たちは、くらしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、
ともに考える、そのような人と人とのつながりを大切にします。

私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで
笑顔あふれるくらしを創造し、次代へと継承していきます。

みんなごと

『ともにつくる笑顔あふれる未来』の実現に向けて、わたしたちが大切にしている3つのこと。
みんなごとをキーワードにコープしがらしさを創造していきます。

耳を傾け向きあおう

活動へ参加しよう

役職員として体験を活かそう

コープしがとSDGs

SDGsのめざすものは、コープしがが理念としてめざす「ともにつくる 笑顔あふれる未来」のゴールと同じです。

コープしがは、私たちが安心して暮らすために、一人ひとりの小さな「私にできるコト」が寄せ合って大きな力になる投げかけやきっかけづくりをすすめています。

また、人が大切にされ誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をめざして、組合員、役職員、地域の人々と力を合わせていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



働きがいのある職場づくり

役職員は、組合員のくらしづくりに貢献する使命を持っています。各々に与えられた役割や職責を全うしていくために、コープしが職員像をもとに「コープしが職員人財育成方針」を定めています。

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気良く挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の傷みがわかる心をもち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識をもち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します



内部統制基本方針に基づく運営

【コンプライアンス】

コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルール、社会的規範を守り行動するため、コンプライアンス基本方針・自主行動基準を定めています。

【リスクマネジメント】

コープしがの全業務に関わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し、リスク教育を行い、発生防止に努めています。

【個人情報保護】

個人情報保護法に基づき組合員データを適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。

【危機管理】

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規程や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。

生協とは

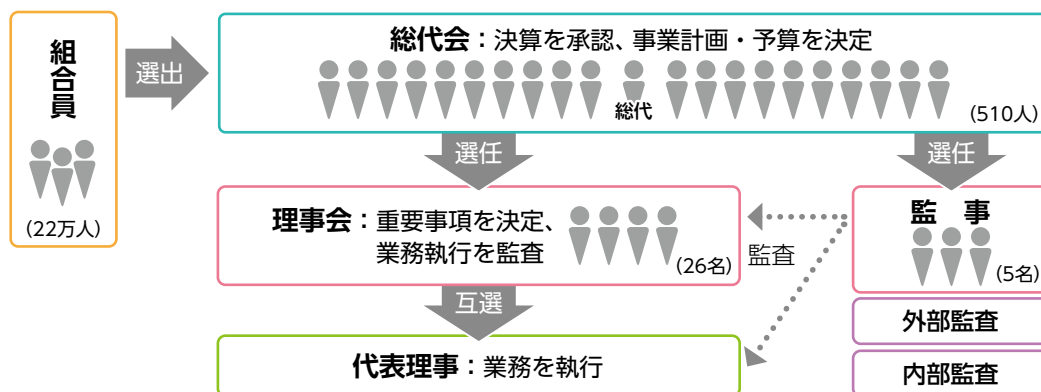
生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」のひとつです。
消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用します。
「よりよき生活と平和」をめざし、「よりよいものをより安く」「健康で豊かなくらし」という願いを実現するためにつくった自発的な「協同」「助けあい」の組織です。

出資

利用

運営

コーポレートガバナンス



機関運営

コープしがの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する**総代会**、総代会で選任された**理事会**と組合を統轄し業務執行する**代表理事**、その決定や業務執行を監視する**監事**で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。

監査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する「監事監査」、会計監査法人による「外部監査」、内部監査担当による「内部監査」の三様監査でチェックしています。

総代会



生協の最高意思決定機関です。組合員の代表である「総代」が参加し、「昨年度の取り組みが、組合員の意思に沿って行われたか」「今年度の取り組みが組合員のくらしに貢献できるか」を判断し議決します。また、定款・規約の改定、役員の選出も総代会で行います。組合員が運営し、議決権を持つのも組合員である「総代」だけです。



2024年度の機関運営

2024年度の機関運営は、会議の場に「つどうこと」、「話し合うこと」（会って話すこと）を大切にすすめました。また、参加しやすい環境づくりとしてオンライン会議や休日の開催を実施したことで、前年より多くの総代が参加し、活発な意見交換が行われました。参加総代からは会って話すことの重要性を再認識する声が出ました。

総代会関連会議に参加された総代の声（アンケートより）

- たくさんの意見をお聞きして、とても勉強になりました。生協の一助となるべく活動していきたいです。
- オンラインでの開催がありましたので参加することができました。



機関会議の様子



コープしがの事業紹介

生協の役割は、組合員の「くらしを良くする」こと。
事業を通して組合員の想いや願いを実現できるよう、組合員の声を受け止めています。
生協の商品やサービスの一つひとつが組合員の声から生まれ改善されていきます。

宅配事業

安全・安心の商品を便利にお届けします。

宅配は県下9か所の宅配事業センターから、毎週約10万人の組合員に安全・安心の商品をお届けしています。子育て世帯、高齢者、お勤めで忙しい組合員のくらしをさまざまな商品やサービスで応援しています。コープしがでは、決まった担当者が、毎週決まった曜日・時間に、組合員に商品をお届けするとともに、見守りなどのお役立ちができると考えています。

●2024年度新規加入人数（宅配）：7,599人



店舗事業

新鮮な商品と品揃えの良さにこだわっています。

コープしがの店は、「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」をコンセプトに、組合員の声に応え、毎日のくらしと食を応援しています。ぜぜ店・もりやま店・かたた店・ながはま店の4店舗で、買い物に不自由されている方の支援(P12に記載)なども行い、地域で一番やさしいお店をめざしています。

●2024年度新規加入人数（店舗）：2,841人

利用者の声

レジの方の笑顔でいつも励まされています。他の方もとても感じの良い方ばかりで毎日楽しく買い物させていただいています。



移動店舗「あったか便」

コープしがでは、高齢者を中心とした日常のお買い物が不自由な方々を支援する目的で、移動店舗「あったか便」を運行し、コープのお店の商品を専用車両で販売しています。また、移動店舗を通じて、地域でのコミュニティづくりや見守り活動にもつながっています。

●2023年4月から運行

長浜市余呉町全域・長浜市上草野地域

●2024年2月下旬から運行

長浜市西黒田地区・長浜市神田地区・

長浜市田根地区



夕食サポート事業

笑顔の食卓をサポートします。



夕食宅配「つながり」は、高齢者、一人暮らし、共働き、育児などで毎日の夕食づくりに困っておられる方を夕食のお弁当宅配を通じてサポートします。事業開始から減塩おかず、やわらかおかずの開発など組合員の声に応えてきました。これからも、楽しく健康的な食生活を応援していきます。

利用者の声

仕事で家に帰るのが遅くなることが多く、自炊ができずに悩んでいました。夕食サポートを利用することで、家にご飯がある安心感があり、バランスの良い夕食を食べられて満足しています。

共済事業

組合員のくらしの安心を広げるCO・OP共済

CO・OP共済は「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いです。手頃な掛け金でしっかりと組合員の家族みんなの保障となるよう、CO・OP共済は組合員の声で充実していきます。

お誕生日には「おかわりございませんか」の手紙を届けて、「請求忘れゼロ」をめざしています。

●2025年3月現在契約件数：114,752件

ありがとうの声（共済金支払い時アンケートより）

夫には持病があり、保障になかなか加入できず困っている時にコープさんなら入れるかなと思い聞いてみたら、入れる保障を探してくれて、安心して加入することができました。説明も丁寧でした。

エネルギー事業（コープでんき）

みらいのエネルギー社会につながる電気をお届けします。

コープでんきは2023年10月より(株)大阪ガスの取次事業に変更しました。エネルギー社会の未来を考え、再生可能エネルギーの促進やCO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいきます。引き続き、コープでんきを身近に感じ安心してご利用いただけるようにすすめています。

●2024年度契約件数：5,255件

毎年、組合員から「冬の節電アイデア」を募集しています。



冬の節電アイデアに寄せられた組合員の声

寝る前や出かける30分前にエアコンやファンヒーターをオフにします。部屋が寒くなってきたから早めに出ようとか、もう布団に入ろうと思って早めの行動につながります。

介護事業

コープしがは、福祉を「一人ひとりの人が社会的つながりの中で、その人らしさをもって幸せに生きること」ととらえ、組合員、地域の方々とともに「くらしを創造する福祉」をめざしています。

■ケアプランセンターぽこ野洲（居宅介護支援）

住み慣れた地域で、いきいきとしたくらしを支える居宅介護支援

■ヘルパーステーションぽこ野洲

（訪問介護・障がい福祉サービス（居宅介護）・介護保険外サービス）

■ヘルパーステーションぽこ守山（訪問介護・介護保険外サービス）

その人らしいくらしを守る訪問介護

「ぽこ」は2013年組合員から公募し、「ポコ・ア・ポコ=少しずつ、一歩ずつ」という意味を込めて名付けました。





たべることは生きること。
 私たちにとって食べものはとても大切なもの。
 食べものはすべて生きものであり、
 その命をもらって私たちは生きています。
 私たちは感謝する心を大切にしていきます。

たべる たいせつ



商品大交流会 (2024/11/9)

今津サンブリッジホテル（高島市）で開催しました。定員を大きく上回る755名の申し込みがあり、会場では試食・交流・即売が行われ、たくさんの家族連れやグループで賑わいました。



参加者の声

味比べができてよかったです。これからも生産者やメーカーの方の想いを感じながら、おいしくいただきたいと思います。活気があって、気に入った商品が買え、交流もできてよかったです。

ぱくぱく商品知ってね！交流フェス

組合員と生産者、職員が商品の良さを知り、食を中心に交流することで地域の人々を笑顔にすることを目的に9つの宅配事業センターで開催し、合計761名の参加がありました。参加者とは別に当日のお手伝いも組合員から募集をして、生産者・メーカーのみなさんと一緒に商品の良さを伝えてもらいました。会場では、フードBOXを設置し、フードドライブの声かけも行いました。



参加者の声

注文したい商品がたくさんあり、ネットのお気に入り登録しました。いつも同じような商品を注文している中、このような機会があると新たな商品を注文するきっかけとなっています。

ファーマーチャレンジ「援農隊」

人手不足など深刻な状況にある生産者をお手伝いして支援する取り組みです。組合員と役職員が、コープしがの子会社「ハートコープしが」の圃場でビニールハウスの中の石拾い、苗植え、雑草取り、収穫作業をお手伝いしました。のべ、51名の参加がありました。



サマーキャンプ in 鳥取 (2024/8/5~6)

鳥取県でサマーキャンプを開催し、親子31名が参加しました。美敷牧場の自然の中で、産直生産者の大山乳業、鳥取県畜産農協の方々と一緒に鳥取県のお肉や乳製品を味わいながら、交流をしました。食べて・笑って・歌って・学んで、楽しい夏休みの思い出となりました。

参加者の声

家族でキャンプを楽しめるだけでなく、食卓に並び牛乳や牛肉がどのようにして私たちのもとへ届くのか、学ぶことができました。



バーベキュー



キャンプファイヤー

産直鳥取みんなのつながり和牛

～産直の牛乳とお肉のふるさとを訪ねる産地交流ツアー～ (2024/4/20～21)

「鳥取みんなのつながり和牛」は、コープしがと鳥取県畜産農協、(株)みんなの牧場が協力して実現した、お手頃価格の黒毛和種の牛肉です。10年前から構想し、2022年から組合員の食卓にお届けしています。生協牛乳を利用されている組合員19名とともに地元の生産者との交流を通じて食の大切さを学ぶツアーを開催しました。

組合員の声

厳しい経営環境の中でも、安全・安心な牛乳・乳製品、牛肉を消費者に届けようという思いで職員の皆さんが取り組んでくださっていることが直接お話を伺う中でよく理解できました。



牛舎の見学

大人のたべる＊たいせつオンライン企画 「地酒と湖魚を楽しむタベ」 (2025/2/22)

食を通じて滋賀県の魅力を再確認する場となるよう、昨年に引き続き大人向けの企画としてオンラインで開催し、21組28名が参加しました。参加者には、ほろよいセットとして魚のゆりかご水田米こしひかりでつくったお酒と、琵琶湖八珍のひとつ「本もろこ煮」を事前にお届けし、地酒や琵琶湖八珍にまつわるお話をお聞きしながら、楽しく交流しました。



オンライン配信の様子

参加者の声

日本酒づくりや、ゆりかご水田のお話が聞けておいしい湖魚とお酒が味わえてよかったです。魚のゆりかごのことは知っていましたが、今回詳しい貴重なお話を聞く良い機会になりました！

滋賀県立大学「食育推進隊」によるレシピ考案

2018年から、滋賀県立大学人間文化学部 生活栄養学科「食育推進隊」の学生みなさんに、産直食材や県内農産物を使ったレシピを考案していただいています。7年目となる今年は、卵、豆腐、産直近江鶏を使ったレシピを3月3回の商品案内書「コープしがマルシェ」で紹介しました。



2024年食育推進隊のみなさん



考案した料理



ふつうに生活できている今に感謝し、
何気ない毎日を大切にします。
私たちはくらしの願いの実現に向けて、
「私にできるコト」をすすめます。

くらし たいせつ



能登半島地震への支援

2024年1月に発生した能登半島地震の被災地では、今もなお厳しい状況が続いています。コープしがでは、4月に七尾市の瓦屋根の撤去などの支援ボランティアに参加したほか、滋賀県生協連・他生協とともに輪島市での炊き出しボランティア活動への参加や、能登を応援する企画への寄付を行いました。

2025年は「能登を笑顔に！ 応援募金～能登半島・奥能登豪雨災害支援～」をすすめ、継続的な支援を行っています。



炊き出しボランティア活動の様子

災害体験から学ぶ

くらしの備えを考えよう (2025/3/29)

自然災害に対し、さまざまな視点でくらしの備えができるよう、語り部の方や災害を経験した全国の生協役職員からお話を聞きました。参加者それぞれが自助の視点で具体的な備えをするきっかけとなりました。

参加者の声

「天災は忘れたころにやってくる」このことを心にとめて、日頃の備えが必要だと改めて思いました。

親子で防災企画

家族で防災・減災に対するくらしの備えがすすめられるように取り組みました。県内3カ所で小学生とその保護者を対象に親子で一緒に「防災」の基本を学ぶことができました。



段ボールベッドの作成と体験の様子

参加者の声

- 話を聞くだけでなく実際に体験する。作ってみる・やってみることがとても大切だと思った。
- 楽しく防災について考えて、体験出来て良かった。

みんなで取り組んだ募金など

ユニセフ・一般募金 内、1,956,545円ミャンマー指定募金	6,895,031円
令和6年能登半島地震及び能登豪雨災害募金	5,139,729円
ハンガーフリーワールド(書き損じはがき回収キャンペーン)	3,721,186円

組合員による商品の利用を通じた応援募金

しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金	1,506,995円
利用登録米の利用による「滋賀応援寄付」(1kg当たり1円)	363,000円
珊瑚再生もずく基金(1点当たり1円)	79,773円
沖島のやさしいアイス利用寄付(1点につき10円を沖島小学校に寄付)	2,840円

●全国の生協とともに取り組む募金(コープしが分)

CO・OPレッドカップキャンペーン(1点当たり1円)	63,800円
CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト(1パック1円)	37,506円
CO・OPスマイルグリーンプロジェクト(1点当たり1円)	143,821円
CO・OP洗剤環境寄付キャンペーン(1点当たり0.5円)	25,444円
CO・OP化粧品ピンクリボン運動(1点当たり1円)	13,195円

もずく基金

沖縄県恩納村で行われる「産直もずく利用によるサンゴ募金」の合同贈呈式に毎年参加しています。この募金は、「産直もずく」を生協で利用することで、1点あたり1円が沖縄県の恩納村漁業協同組合へ寄付される仕組みです。寄付金は、美しく豊かな沖縄の海をつくるサンゴの再生に活かされています。また、今年は産直の取り組みとして役職員を対象としたサンゴ学習会を実施しました。



サンゴ学習会の様子

お店でのお買い物をサポートする仕組み

●お買い物サポートカー

お買い物が不便な方を対象に、ご自宅からお店まで無料で送迎するサービス



●お買い物代行

電話でご注文された商品を、ご自宅にお届けするサービス



●お買い上げ配達

お店でお買い物された商品を、その日の夕方までにご自宅へお届けするサービス

●移動店舗「あったか便」

※P7に記載

はじまるばこ

コープしがでは、滋賀県にお住まいの、1歳未満の赤ちゃんのおられるご家庭を対象に、便利な育児サポート商品の詰め合わせ「はじまるばこ」を無料でプレゼントしています。



ありがとうの贈りもの

滋賀県がすすめる「滋賀で誕生ありがとう事業」の取り組みの1つで、コープしがも協賛・申込窓口・お届けを担っています。





「ふだんのくらしのしあわせ」を実感したい。
私たちは、人々のささえあい・助け合いの活動を
すすめ、みんなが幸せになることをめざします。

ちいき
たいせつ



子育ての見守り

自治体から業務委託を受けて、満1歳までの赤ちゃんがいるご家庭に、毎月おむつなどを届けています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認・悩み事の寄り添いなど、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。2024年10月からは新たに高島市で「おむつおとどけ みまもり便」がスタートしました。

その他、東近江市「見守りおむつ宅配便」/甲良町「見守りおむつお届け便」/甲賀市「こうかおむつ便」/近江八幡市「おむつおとどけ みまもり便」を受託しています。



高島市「おむつおとどけ みまもり便」出発式 (2024/10/3)



高島市「おむつおとどけ みまもり便」専用車両

ご利用者の声 (アンケートより)

日中ワンオペ育児なので、おむつを毎月届けに来てくださり、子どもの成長を話すのは一瞬でも息抜きになります。

自治ステーション

買い物が不自由な地域の方や居場所の活性化にお役立ちするために、宅配の商品を受け取るステーション機能を活用して、その場所が地域の「集う場」となるきっかけになるように地域の方々とともに開設を進めています。現在、長浜市、守山市、米原市に3つのステーションがあります。



できるコトづくり制度の助成と支援

2018年に創設された「できるコトづくり制度」は、「想いや願い」を持った団体が新たな一歩を踏み出すための「学びの場（できるコトづくり講座）」の提供と、その「想いや願い」を実現させるために必要な「資金助成（できるコトづくり助成）」からなっています。2024年度は「はじめて助成」10団体、「活動助成」8団体に助成を行いました。（継続申請含む）

2024年度「はじめて助成」1年目の助成団体「かえでの庭」のみなさんは、子どもたちが自然の中で遊べる居場所づくりに取り組む団体です。野菜の収穫体験や山や川や森での遊びを通じて五感を育みながら、大人の悩みも相談し合える、みんなで子どもたちを見守る場所となっています。



「かえでの庭」水遊びの様子

組合員どうしの助け合い「ささえあいサポート」

ささえあいサポートはくらしの困りごとを組合員どうしで助け合う活動です。お手伝いするのは、組合員とその家族のみなさんです。地域ごとに組合員で構成するコーディネーター会が依頼受付やサポーター手配など、運営を担っています。

●2024年度ささえあいサポート利用件数：3,664件

ご利用者の声（家事援助・食事作りの依頼）

初めて利用させていただきましたが、どの料理もおいしく、また利用したいと思います。気さくにお話ししていただき、子どもにも笑顔で接してくださり良かったです。

サポーターの声（草取りの依頼）

草取りの依頼では、複数名でサポートすることもあるので、サポーター同士すっかり顔なじみになりました。ささえあいサポートをきっかけにサポーター同士のつながりも感じられます。



認知症学習会

高齢化がすすむ社会における組合員のくらしを見守るため、認知症の正しい知識を持ち、認知症の本人・家族の気持ちを理解することを目的に、実施しています。全職員がサポーターとなれるように受講をすすめています。

職員の声

ご来店いただく方の中にも認知症の方がおられ、対応に困る場面がありました。研修で学んだことを実践し、安心していただける対応を行っています。



キッチンカー健康教室

食を支えるコープしが「地域での健康づくり」のお役立ちとして行っている出前型の健康教室です（無料）。

赤いキッチンカーで滋賀県内の高齢者サロンや老人クラブ、子育てサークルなどに伺い、クイズを交えながら健康のお話やレシピの紹介をしています。

●2024年度開催回数：109回



健康教室の様子



キッチンカー

子ども虐待防止「オレンジリボンキャンペーン」

滋賀県では、11月のオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンを中心に、子どもを虐待から守るメッセージリボンである「オレンジリボン」により広報啓発を行い、児童虐待について考えるきっかけとしています。コープしがこの趣旨に賛同し、事業所でのポスター掲示や、職員がオレンジリボンを着用し、取り組みに参加しています。





滋賀県の約6分の1を占めるびわ湖。
周囲の緑豊かな山々や田園風景は、
私たちの暮らしにやすらぎを与えてくれます。
コープしがではふれあう体験の場を通じて
びわ湖や自然を大切にすることを育んでいきます。

びわこ たいせつ



びわ湖清掃ウォーク 2024

(2024/9/28)

“びわ湖を大切にすること”を育む活動の一環として、毎年9月に清掃ウォークを実施しています。第15回目となる今年は、守山市の琵琶湖大橋～第2なぎさ公園までの湖岸で「清掃ウォーク」を開催しました。合計450人の組合員・役職員が湖岸の清掃を行った後、「びわ湖〇×クイズ」や地元の学校の吹奏楽部による演奏、キッズダンスを楽しみました。また、県内のゆるキャラの登場もあり、盛りだくさんの内容となりました。



参加者の声

- 子どもが学校の行き帰りでゴミ拾いすることがあって興味があるようなので、参加しました。びわ湖の清掃は初めてです。子どもと一緒にいい体験になりました。
- 地元の誇りであるびわ湖を身近に感じながら、自分たちの手で綺麗にしていくという体験ができるので、とても良い活動だと思いました。
- 子どもが少しだけ落ちていたゴミを、必死に探して袋に入れようとする姿が見れて良かった！ウォーキングも良かった！

ヨシでびわ湖を守る取り組み

(2025/2/1)

近江八幡市にある西の湖でのヨシ刈りボランティアにコープしが職員も参加しました。コープしがは、ヨシを通した環境活動に賛同し、「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のパートナー企業に登録して地域の環境貢献活動に参加しています。ヨシを刈り、活用することが、びわ湖の水環境や生態系を守るにつながっています。



CO₂削減の取り組み

家庭で使う照明を消してCO₂の削減や地球温暖化について考える、夏のライトダウンキャンペーンには72家族、冬のエコライフキャンペーンには44家族の組合員が参加し、エアコンの温度設定の変更、照明器具の消灯、家電製品の使用方法の見直し、水の使い方など日々のくらしの小さな積み重ねを大切にするエコライフにチャレンジしました。また、組合員から節電アイデアを募集しました。

参加者の声

- 家族で過ごしている以上、一人ひとりそれぞれが節電・節水などエコライフをしてこそ、目に見える効果が出るのだと思いました。



コープかたた店のライトダウンの様子

節電アイデア

- 車のアイドリングをなくして、エコな走りをする。(冬)
- 湯たんぽやひざ掛けを使う。(冬)
- 外で遊ぶ時間を多くして家の電気は使わない。(夏)

自然と遊ぼう & 木こり体験

(2024/11/24)

森の中での体験や交流を通じて、自然を大切にする心を育むことをめざして開催しました。当日は自然と仲良くなるプログラム「ネイチャーゲーム」や木こり体験を実施しました。



のこぎりを使った枝切りの様子

参加者の声

木と森を守ることは、びわ湖を守ることに繋がることがわかりました。

コープの森あぶらひ

森林ボランティア (2024/11/9～10)

コープの森あぶらひの森林ボランティアに職員が参加しました。電動草刈り機で刈る事のできないどんぐりの木の周りを人の手で刈る、下草刈りを中心に作業を行いました。実際に作業を行うことで、参加者全員が森を維持していく大変さを学ぶことができました。



下草刈りの様子

しがのふるさと支え合いプロジェクト

滋賀県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」協定を活用して、高島市マキノ町知内の自然のなかで田植え・稲刈り体験、「魚のゆりかご水田」での生きもの観察会、お米のお渡し交流会を実施しました。この取り組みにより地域の活性化や交流が生まれています。

※「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、多様な住民や地域活動団体との協働による持続可能な農村づくりの取り組みです。



田植え体験



「魚のゆりかご水田」での生きもの観察会



お米のお渡し交流会



コープしがは、平和な社会の実現をめざして、命の尊さを考え、お互いの人権を守り安心できるくらしづくりを進める場を広げていきます。

いのち たいせつ



毎年、さまざまな視点から「いのちの大切さ」について考える企画を開催しています。2025年は戦後80年によせた取り組みを予定しています。

いのちの大切さを考える学習会

(2025/4/2)

昨年に引き続き3回目となる動物の命を通していのちの大切さについて考える学習会を企画しました。滋賀県動物保護管理センター（湖南市）にて、職員による愛護学習や、施設見学を行い、殺処分の実状やペットと防災についての学習も行われました。身近な動物の命から命の尊さを考える機会になりました。



施設見学の様子

参加者の声

飼育する側がルールを守って最後まで責任を持つことを忘れないでほしいです。この施設の事を多くの人に知ってもらいたいと思いました。

県内戦争遺跡巡り (2024/7/27)

「戦争」を身近な問題として捉えることをめざして開催しました。県内にある戦争遺跡の見学やお話をお聞きして、平和について考える機会となりました。



八日市掩体壕（東近江市）見学の様子

参加者アンケートより

滋賀県は、戦争遺跡があるイメージがなかったが、今回実際に見学をして、話を聞く事で「滋賀県でも戦争で空襲や壕があったんだ」と強く感じる事が出来ました。

「平和募金」の取り組み

コープしがでは、助けあいの精神を大切にする生協として、ピースアクションinヒロシマ「平和スタディツアー」や、県内戦争遺跡巡りなどの、県内外の「いのち*たいせつ」活動などへの活動参加費用を、募金から充当しています。これは、参加者だけに費用負担してもらうのではなく、“私たちが少しずつ費用を出し合って、私たちの代表として参加してもらいたい”と応援する気持ちを寄せ合う平和募金として取り組んでいます。

●2024年度募金金額：1,632,259円
(2023年度までの繰越額含む)

県内自治体との協定・覚書

コープしがは、理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」の実現に向けて、ともにくらしづくりをすすめるためのつながりの強化をめざし、滋賀県内市町の首長訪問と市町との協定締結をすすめています。

現在、以下の自治体と見守りや災害時の協力に関する協定・覚書を結んでいます。

●県内自治体との協定・覚書一覧

市町名	協定・覚書の名称
大津市	包括連携に関する協定 など
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定 など
長浜市	地域コミュニティ活性化に関する連携協定 など
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定 など
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定
守山市	包括連携に関する協定 など
栗東市	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定
甲賀市	包括連携に関する協定
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定
湖南市	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定 など
東近江市	東近江市と生活協同組合コープしがとの「子ども110番事業」に関する覚書
米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定
日野町	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
竜王町	まちづくりに関する包括連携協定
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定 など
豊郷町	まちづくりに関する包括連携協定
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定
多賀町	まちづくりに関する包括連携協定 など
滋賀県	滋賀県と生活協同組合コープしがとの包括連携協定書 など

守山市との「包括連携に関する協定」では、連携項目に「農業振興に関すること」があります。立命館大学食マネジメント学部と共同して惣菜商品の開発に取り組みました。



立命館大学 食マネジメント学部の学生
のみなさん



もりやま・びわこパール野菜のブロッコリーを
使用した「ブロッコリーのアヒージョ風炒め」

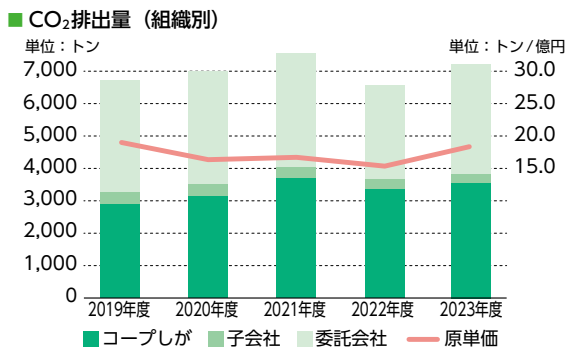
くらしは見守り・災害時の協力と限定されるものではなく、食や健康など多岐にわたるため、コープしがでは、お役立ちの可能性を広げるためにも包括連携協定をすすめていきたいと考えています。

コープしがは、一人ひとりの参画による力と組織や団体の連携を通じて持続可能な社会づくりに取り組みます。

事業における環境報告

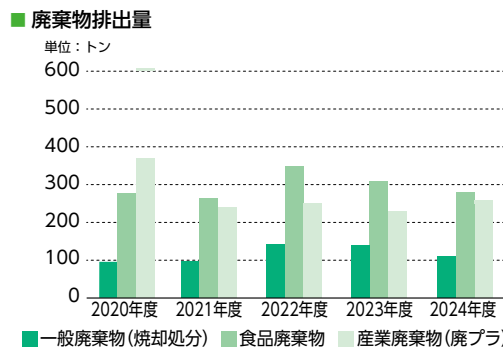
コープしがは、「環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みをすすめています。「環境マネジメントのシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

【CO₂排出量の削減の取り組み】



全体のCO₂排出量は前年比106.7%となりました。供給高1億円当たりのCO₂排出量は18.3トンとなり、前年比108.4%となりました。
※全体のCO₂排出量から、滋賀県森林CO₂吸収量認定制度（コープの森あがりの森林整備が対象）の認定量など約156トンを相殺しています。

【事業活動による廃棄物の削減】



事業系の一般廃棄物は、食品返品削減の取り組みなどにより、前年比89.0%となりました。食品廃棄物は、店舗の商品製造計画の適正化の取り組みなどにより、前年比90.7%となりました。店舗の廃プラは供給高の伸長により大幅に増加しました。

コープしがの取り組み

2030年度までの「CO₂排出量46%削減に向けたロードマップ」

日本生活協同組合連合会の環境サステナビリティ政策の変更に伴って、コープしがの実施計画の見直しを行いました。前回の計画では2030年に2013年度比42.1%削減の目標でしたが、新たなロードマップではコープしがの地域性や事業形態、経営状況、CO₂排出量削減を取り巻く社会情勢等を慎重に検討し、CO₂排出量の算定範囲の見直しも含めて46%削減の目標に変更しました。



間伐材を活用した名刺の作成

木材資源の有効活用を目的として、コープの森多賀の間伐材を使用した名刺台紙に変更していきます。



環境・太陽光発電のページをホームページに新規開設しました



コープしがの
サステナビリティ（環境）



再生可能エネルギーをつくる
（太陽光発電）

組合員の取り組み

環境に配慮した商品の普及実績

環境マーク		供給高(前年比)	供給点数(前年比)
エコマーク		592,520,577円(88.9%)	1,817,428点(85.5%)
FSC®		2,190,734,146円(110.9%)	4,305,307点(105.0%)
MSC		154,230,678円(87.2%)	414,903点(87.7%)
ASC		2,058,564円(209.9%)	2,789点(104.5%)
MEL		188,812,798円(131.9%)	361,936点(126.2%)
有機JASマーク		40,622,882円(132.1%)	172,517点(132.5%)
特別栽培農産物		76,524,974円(122.3%)	258,101点(112.1%)
レインフォレスト・アライアンス		85,640,956円(117.0%)	238,127点(119.6%)
洗剤環境寄付キャンペーン		41,282,846円(100.4%)	50,870点(104.4%)
RSPO		109,273,172円(105.1%)	640,843点(110.3%)
スラウェシ島エビ養殖改善協力金		57,561,124円(85.4%)	55,049点(83.5%)

循環型社会をめざして

リサイクル回収実績(2024年4月～2025年3月)

●2024年度リサイクル売却実績

51,100千円

宅配回収物 ()は前年比

商品案内書

年度累計 **2,625,960kg**

(96.4%)

回収率 63.9%(前年-1.4%)



商品仕分け袋

年度累計 **29,980kg**

(97.6%)

回収率 26.5%(前年 2.9%)



宅配・店舗回収物 ()は前年比

牛乳パック

年度累計 **53,770kg**

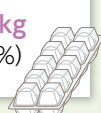
(100.1%)



たまごパック

年度累計 **19,955kg**

(91.7%)



店舗回収物 ()は前年比

ペットボトル

年度累計 **41,153kg**

(88.9%)

生協で回収したペットボトルをCO-OP商品の包材にリサイクルしています。



ペットボトルキャップ

年度累計 **2,585kg**

(90.3%)



食品トレイ

年度累計 **9,578kg**

(106.0%)



古紙・段ボール

年度累計 **336,327kg**



アルミ缶

年度累計 **997,545本**



※回収した牛乳パックの一部は、ただいまロールやおかえりティッシュにリサイクルされています。

※コープしがの店舗でスプーンやフォークなどのカトラリー製品を販売した収益の全額は、「びわ湖清掃ウォーク」の費用として活用しています。
2024年度活用金額：6,739円



リサイクル可能な資源・リサイクルの流れをまとめたリーフレットを作り、リサイクルを呼びかけています。



リサイクルについて詳しくはこちら

コープのお店に設置しているリサイクルステーションでは、アルミ缶・古紙・段ボールを回収して、リサイクルしています。



コープしがの概要

(2025年3月20日現在)

名称 生活協同組合コープしが

設立 1993年3月21日

滋賀県内4生協が合併して発足。(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)

本部 滋賀県野洲市富波甲972番地 TEL 077-586-1112 (代表)

代表理事 (理事長) 白石 一夫 (専務理事) 高橋 剛太

組合員数 22万5,662人

加入率 37.0% (= $\frac{2025年3月20日現在の滋賀県在住の組合員数}{2025年3月1日現在の県統計世帯数}$)

出資金 136億8,113万円

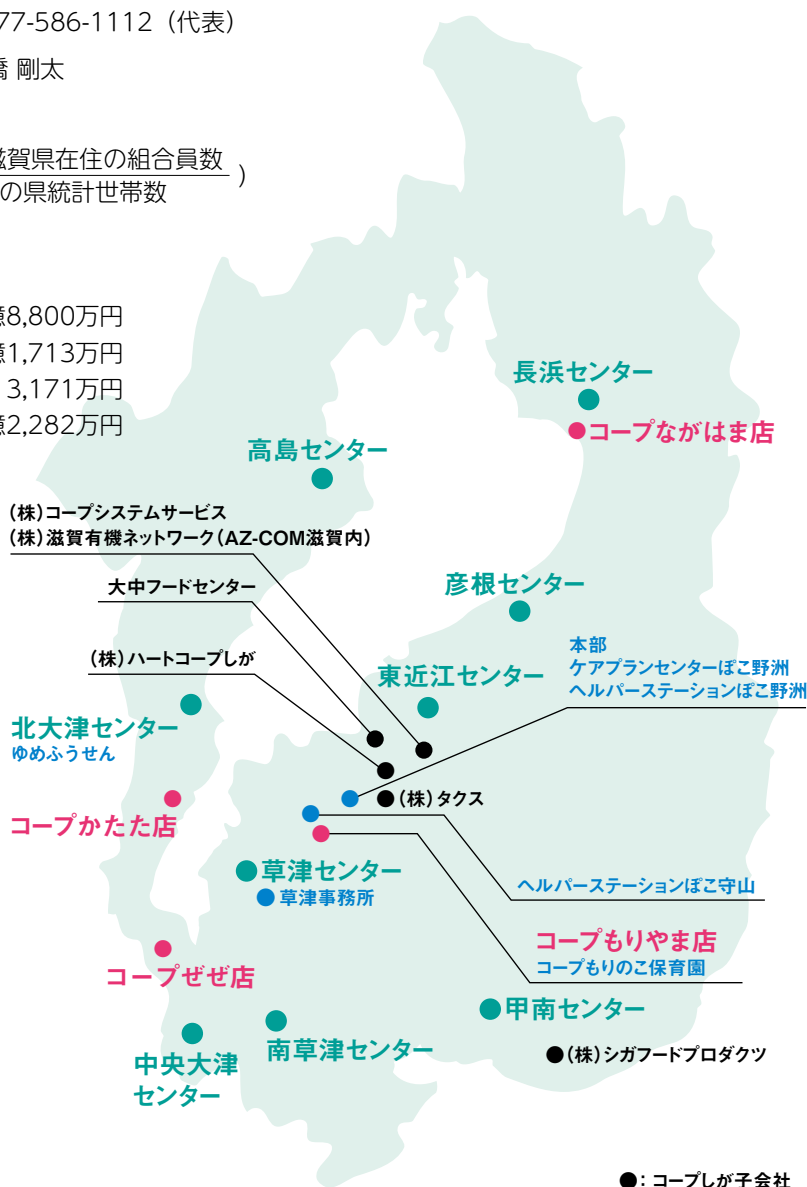
供給高 402億5,968万円

(内訳) 宅配事業	307億8,800万円
店舗事業	89億1,713万円
くらしのサポート事業	3,171万円
夕食サポート事業	5億2,282万円

職員数	総合スタッフ	310人
	エリアスタッフ	113人
	シニアスタッフ	41人
	嘱託スタッフ	34人
	専属スタッフ	13人
	福祉専任スタッフ	8人
	登録ヘルパー	21人
	定時・アルバイトスタッフ	979人

「供給高」とは

生協では、組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業であることから、「売上高」ではなく「供給高」という言葉を使用しています。



●: コープしが子会社

コープしがの事業所・事務所一覧

本部・事務所・その他施設

本部	野洲市富波甲972
ゆめふうせん	大津市真野5-33-25
草津事務所	草津市西草津2丁目1-1
ケアプランセンターぽこ野洲	野洲市富波甲972
ヘルパーステーションぽこ野洲	野洲市富波甲972
コープもりのこ保育園	守山市勝部3丁目14-27
ヘルパーステーションぽこ守山	守山市守山4丁目7-20 辻田ビル1階

店舗

コープゼゼ店	大津市竜が丘1-1
コープもりやま店	守山市勝部3丁目15-30

コープかたた店	大津市衣川1丁目17-1
コープながはま店	長浜市宮司町1200

宅配事業センター

南草津センター	草津市笠山5丁目3-50
北大津センター	大津市真野5-33-25
草津センター	草津市上寺町可摺281-1
中央大津センター	大津市国分2-226-22
甲南センター	甲賀市甲南町市原303-6
東近江センター	東近江市五個荘清水鼻町153-6
長浜センター	長浜市西上坂町1020-1
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町四反地224-1
高島センター	高島市新旭町新庄799

コープしがのグループ会社



株式会社シガフードプロダクツ

所在地：甲賀市甲南町寺庄330

事業内容：食肉加工およびパック加工済み商品・畜肉加工品の販売

設立の目的：生肉の生産、流通および加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給するため



株式会社タクス

所在地：野洲市富波甲972

事業内容：保険代理店業、不動産事業、旅行事業

設立の目的：組合員の暮らし全般をサポートするため、生協では扱えない事業分野での事業展開を図るため



株式会社コープシステムサービス

＜本社・農産青果加工センター＞

所在地：近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティクス滋賀内)

事業内容：産地パックの全量点検、原料加工業務、店舗輸送元請け業務、チケッ ト仕分け転送業務

設立の目的：流通に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行およびコープしがの物流費をコントロールするため



＜大中フードセンター＞

所在地：近江八幡市大中町565番地1

事業内容：弁当の製造、冷凍保冷剤管理業務受託作業、農産物点検加工業務



株式会社ハートコープしが

所在地：野洲市富波甲963-1

事業内容：農産物の生産・加工・販売、宅配商品通い箱等の洗浄作業受託、食品循環資源等の再生利用作業受託

設立の目的：障がいのある方々の「働きたい」願いや自立の手助けの場を提供し、食品サイクルループを構築するため



株式会社滋賀有機ネットワーク

所在地：近江八幡市長光寺町瓶割山951-4
(AZ-COMロジスティクス滋賀内)

事業内容：農産物、農産加工品の販売

設立の目的：県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と、農産物の物流拠点を確立するため



「しが生物多様性認証制度」で、
2022年度最高評価の「3つ星」の
認証を獲得しています。

コープしがへの期待と受け止め、これからもSDGsに基づく事業と活動を組合員のみなさんとともにすすめていきます。



<https://www.pak2.com/>

「スパイラル」はコープしがのシンボルマーク。

巻貝・波紋・風などの自然を象徴し、

さらに求心と拡大、進化の軌跡などの発展を表しています。



公式ホームページ



採用ページ



公式Facebook



公式Instagram



公式YouTube



公式LINE



この紙は「びわ湖の森を元気にする」
kikito ペーパーを使用しています。



本誌に使われている紙は、
コープの森を育てるために
間伐材を積極的に使用しています。



- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷

2025年 5月発行